

オリンピック・パラリンピックを活用した教育 ～東京2020大会に向けて～

本市では、スポーツの意義や価値等に対する理解・関心の向上や、生涯を通じたスポーツへの主体的な参画の定着・拡大、これからの社会に求められる資質・能力等の育成を目指した「オリンピック・パラリンピック教育」の推進を図っています。
 本号では、ゲストティーチャーを招いて行われた小室小学校、高根中学校、宮本小学校、海神中学校の取組を紹介します。

シッティングバレーボール 小室小学校

シッティングバレーボールチーム「千葉パイレーツ」の加藤昌彦選手らをお迎えし、東京2020大会で幕張メッセを会場に行われるシッティングバレーボールを体験しました。競技のおもしろさだけでなく、競技とおして相手を思いやる気持ちについても気づきました。



座ったまま手で前、後ろに移る練習。シッティングバレーボールの体験。体のバランスを保つのは大変！

タグラグビー 高根中学校

女子7人制ラグビー日本代表としてリオデジャネイロオリンピックに出場した桑井亜乃選手を講師にお迎えし、「オリンピック教室」を開催しました。運動が苦手な生徒も楽しく参加できるタグラグビーの体験やグループワークでオリンピックの意義や精神について学びました。



「全力で・仲間を大切に・ルールを守って」の約束でタグラグビー体験。教室でオリンピックの歴史や精神、価値等を学習。

フェンシング 宮本小学校

五輪メダリストで、日本フェンシング協会会長の太田雄貴氏らをお迎えし、東京2020大会で幕張メッセを会場に行われるフェンシング競技を見学、体験しました。全校児童の大声援に応じて現役選手が気合いの入ったプレーを見せてくれました。目の前の迫力ある剣さばきに、児童たちは大興奮でした。



太田会長から出題されたクイズに見事正解！実際に体験した6年生が感想を皆の前で発表。

フェンシング 海神中学校

元日本代表の阪野弘和選手らを講師にお迎えし、フェンシング競技の3種目の名前やルールなど、クイズ形式で楽しく学びました。生徒からはユニフォームや用具について活発に質問をしていました。現役選手と生徒代表による模擬試合では大声援の中、大変盛り上がりしました。



現役選手を相手に、中学生も物怖じせず積極的にアタック。最後に全校生徒と記念撮影。フェンシング競技の魅力を堪能。

わが校の給食自慢レシピ 市場小学校編 『まぜごはん』

食材の産地は、各学校のウェブサイト毎日公表しています。



レシピ紹介

2013年に「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。最近給食では洋食の献立が好まれる傾向にありますが、食文化の継承からまぜごはんも献立にとりいれています。煮汁を使って炊くことでごはんも具がなじみ、おいしくなります。ごはんは半月に切ることで香りや食感をより感じることができます。
 根菜類の多い和食は噛む回数が多く、脳や顎の発達にもつながり、成長期に和食をきちんと食べることは意味のあることと言えます。

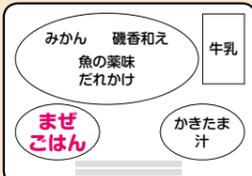
ユネスコ：国連教育科学文化機関

作り方

- ① 米は研いでおく。
- ② 鶏もも肉とごはんを油でよく炒める。
- ③ Aをしいたけ、たけのこ、にんじんの順に炒めて、Bを入れて煮る。さらに油揚げを入れてAがやわらかくなるまで煮含める。
- ④ ③をざるにあけ、具と煮汁に分ける。
- ⑤ ④の煮汁を含めた分量の水で、ご飯を炊く。
- ⑥ 炊き上がった後、ご飯と④の具を混ぜ、グリーンピースを散らす。

材料(4人分)

- 米……………2合
- 鶏もも肉皮なし(角切) ……40g
- ごぼう(斜め半月切) ……30g
- 油……………小さじ1
- しいたけ(干切) ……20g
- たけのこ水煮(干切) ……20g
- にんじん(干切) ……40g
- 油あげ(干切) ……1/2枚
- 酒……………小さじ1
- 砂糖……………小さじ2
- みりん……………小さじ1
- しょうゆ……………大さじ1弱
- 塩……………ひとつまみ
- 水……………大さじ5～6
- グリーンピース……………少々(または、さやいんげんなど)



熊崎 浩子 市場小学校 学校栄養職員

ひきこもりのお子様のことでお悩みの方は、〈ふれあい「夢のふなっこ」〉にご連絡ください。
 ☎047-434-6811 火曜日～金曜日 10時～15時

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

文化活動の充実と 子供たちの創造性を育む

船橋市の図画工作・美術教育

博物館・地域との連携で進める美術授業

高根台中学校では、1・2年生が飛ノ台史跡公園博物館と連携し、縄文の文様を生かした焼き物の制作や、土器片の文様をデザイン化して型染めの布を制作しています。
 3年生は船橋市郷土資料館と連携して、「土器片の拓本」をとった形をデザインする等、縄文の文様を今に生かす授業を展開しています。
 ボランティアとして保護者の方々にもお手伝いをいただきながら授業を進め、子供たちに日本の美を継承しています。この連携による授業は、海神中学校1年生と飛ノ台史跡公園博物館でも行っています。

縄文の文様がはつきり出るような拓本を目指し、熱心に取り組む生徒。▶



▲石原輝代(高根台中学校)教諭による3年生の授業。

ボランティアの笹川さんから拓本のコツを教わる生徒。▶



船橋市小・中・特別支援学校造形作品展 —「子供たちの色・形・夢」—



船橋市小・中・特別支援学校造形作品展は、毎年2月に開催し、約7,000人の市民が訪れる美術の展示会です。市民ギャラリーを会場として、児童生徒が授業の中で制作した、立体的な作品約3,600点を展示しています。来場者から「予想以上の素晴らしさで、子供たちのパワーを感じました。」などの感想をいただいております。

夢・アート展 —子供たちの夢や願いを多様な平面作品に—

夢・アート展は、ふなばしアンデルセン公園内の「子ども美術館」を会場として、毎年、夏季休業中に開催しています。小・中・特別支援学校の児童生徒が制作した絵画作品、約500点を展示しています。



第29回 教育フェスティバル 10月19日(土) 20日(日)

「教育フェスティバル」は、船橋市の生涯学習の推進を図ることや、教育の情報を発信することを目的として、毎年秋、船橋市総合教育センターで開催しています。今年、千葉工業大学による科学の大広場、プラネタリウム特別投映、ワークショップ等、楽しみながら学べるコーナーや、第46回船橋市児童生徒科学論文・工夫作品展や第29回船橋市児童生徒社会科作品展、第8回算数・数学チャレンジふなばしを含めた特別賞等の表彰式もあり、2日間でのべ4,000人以上の来場者があり、盛況でした。



千葉工業大学 「科学の大広場」

本市と包括的な連携に関する協定書を締結をしている、千葉工業大学による「世界一の自律サッカーロボットの仕組みを知ろう」「自然素材でバスボンづくり体験」等のコーナーがあり、子供たちに大人気でした。

スクールプログラム ほねほねウォッチング国立科学博物館



国立科学博物館の職員の方による骨の仕組みとはたけについて、人間の骨の数や形、並びについて、実際に骨の模型を動かしたり並べたりして楽しみながら学ぶことができました。

御滝中学校管弦楽部による演奏



御滝中学校管弦楽部が、視聴覚ホールにて「カルメン組曲より前奏曲」、「美女と野獣メドレー」、「パプリカ」を演奏しました。素敵な音楽で、フェスティバルに花を添えました。



第46回船橋市児童生徒 科学論文・工夫作品展



作品展

科学論文576点、科学工夫作品115点、社会科作品400点が展示されました。科学論文の部では数年間の継続研究など読み応えのある作品、工夫作品の部では身近な素材でいねいに作られた作品が、社会科作品の部では実地調査に基づいて探究した作品が多く出展されました。

第29回船橋市児童生徒社会科作品展



ふなばし三番瀬環境学習館コーナー



船橋市立船橋高等学校 ICT 教育実践教室



飛ノ台史跡公園博物館コーナー



プログラミング体験コーナー



表彰式

第46回船橋市児童生徒 科学論文・工夫作品展表彰式



第8回算数・数学チャレンジふなばし 表彰式



第29回船橋市児童生徒社会科作品展表彰式



科学論文・工夫作品展、社会科作品展の特別賞・優秀賞の受賞者と、算数・数学チャレンジふなばしの入賞者の表彰式が行われ、賞状が手渡されました。

紹介・展示コーナー

プラネタリウム特別投映



幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組の紹介

船橋市立船橋高等学校



船橋市立船橋特別支援学校

